

継承・発展させていくべきもの

目的	目的の掘り下げ	敷地レベル	まちレベル	都市レベル	社会システム
①生活文化の継承と発展 ・自然との関係	暮らしの中で四季や自然を楽しむ	・まちなかでも、緑や自然の光と陰影を楽しむことができる工夫（庭の設置等） ・四季折々の祭事など、季節を楽しむ暮らしの知恵（祭事、季節ごとのしつらえ等） ・自然を活かした健康にもやさしい工夫（通風経路の確保・採光・軒庇による日射遮蔽等の建物側でできる環境調整の工夫、自然素材の活用）	・隣地との協調（庭の連続など）による日照、通風の確保 ・地域の祭事、年中行事の舞台（地蔵盆等） ・多様な価値観の共存（毎日のあいさつ、清掃、近所づきあいの知恵や約束事） ・防災への配慮（庭等の空地の確保、建物による防火帯の形成）	安心安全で暮らしやすく，魅力や活力のあるまち ・高密度な市街地を形成する大都市 ・豊かな自然と共生するまち ・ヒューマンスケールなまち	・家事の役割分担や祭事を通した暮らしの文化の伝承 ・地域住民による福祉活動（弱者を地域で見守るなど） ・職住共存・近接
	地域とつながりを持つ（コミュニティ）	・地域社会とのゆるやかなつながり（座敷や玄関等での接客，おもてなし。格子の緩やかな目隠し機能等）			
	都心に集まって暮らす（都市空間のつくりかた）	・近隣への配慮（開口部の位置，近隣の日照・通風を阻害しない等）			
	・住み手との関係	物を大事に使いながら住まう	・ライフスタイルの変化に対応できる可変性 ・メンテナンスのしやすさ		・循環型の建築システム（既存部材や建具の再利用ができるなど）
②趣のある町並みの形成 ・まちとの関係	各地区毎の方針による ＜例＞旧市街地型美観地区 京町家等の歴史的建造物との調和	・洗練された繊細なデザイン（京格子等）	・統一感のある町並み（家並み，スケール感，建物配置） ・まちになじむデザイン（表構えの共通する要素，地域性等） ・地割りの継承	・都心の賑わいと歴史的な都市空間の共存 ・「盆地景」を基本に自然と共生する景観形成	
③伝統技術・技能の継承	伝統技術・技能の仕事の場が増えることで，職人が育ち，伝統構法が新築の選択肢の一つになるとともに，既存京町家の保全継承につながる	・木組み，左官，畳等の伝統技術・技能			・出入りの大工による定期的な点検 ・仕事を通じた技術・技能の継承
実現するための手法		・新築等京町家の基準 ・新築等京町家の認定等の支援策	・新築等京町家の基準 ・新築等京町家の重点エリアの設定等の支援策 ・形態意匠の制限（景観デザイン基準） ・住民主体のまちづくり（地区計画，建築協定，自主協定等） ・防災まちづくり，路地の保全再生	・保全・再生・創造の土地利用（都市計画） ・眺望景観や借景の保全（景観政策） ・人と公共交通優先のまちづくり	・住教育による暮らしの文化の継承 ・健康・福祉等に関するまちづくり活動 ・職人の育成 ・モジュールのあり方の検討